

授 業 概 要

分 野	専門分野Ⅱ	科目名	精神看護援助論Ⅰ 「精神疾患・障害」	担当講師	竹内克史 横山 紘子
実施年次	2年次	単位数	1単位	時間数	15時間
<p>科目設定のねらい</p> <p>我が国における入院中の精神障がいを持つ人の平均在院日数は約300日と世界で最も長く、在院日数を短縮させ地域での生活を促進しているが、依然として精神科病床数は減少せず脱施設化が進んでいない。このような現状の背景には、精神障がいを持つ人に対する社会的な理解不足がある。</p> <p>疾患や症状について正しい知識を持つことで、精神障がいを持つ人への理解へとつなげ、症状や治療に苦しむ患者の気持ちや思いに少しでも寄り添えるための看護の基礎知識を習得することをねらう。</p>					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
2	1. 精神障害とその治療の歴史的な流れを理解する	(1) 精神医療の歴史と現状	1) 精神障がい者の理解のされ方の歴史 2) 精神保健福祉活動と法制度の変遷 3) 外来・入院患者の現状 4) 入院医療の課題	講義	
2	2. 精神障がいを持つ人が抱える症状を理解する	(2) 精神症状の種類	1) 思考の障害 2) 感情の障害 3) 意欲の障害 4) 知覚の障害 5) 意識の障害 6) 記憶の障害	講義	
8	3. 主な疾患の特徴を理解する	(3) 主な精神疾患の特徴	1) 疾患の分類と診断基準 2) 統合失調症、統合失調症型障害、妄想性障害 3) 気分（感情）障害 4) 神経症性障害、ストレス関連障害身体表現性障害 5) 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 6) パーソナリティ障害 7) 器質性精神障害（精神作用物質関連障害） 8) 知的障害／精神遅滞	講義	
2	4. 精神科における治療を理解する	(4) 精神科における主な治療	1) 薬物療法、電気けいれん療法 2) 精神療法（個人療法・集団療法） 3) 作業療法、精神科リハビリテーション	講義	
1	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座「精神看護学①精神看護の基礎」「精神看護学②精神看護の展開」医学書院				
参考文献	中井久夫 看護のための精神医学第2版 医学書院 大熊一夫 精神病院を捨てたイタリア 捨てない日本 岩波書店 宮岡等ほか 大人の発達障害ってそういうことだったのか 医学書院 // その後				
評価方法	筆記試験				

授 業 概 要

分 野	専門分野Ⅱ	科目名	精神看護援助論Ⅱ 「精神に変調を来たした 人への援助技術」	担当講師	阿達 勇二 安原 沙織 田中佳代子
実施年次	2年次	単位数	1単位	時間数	30時間
<p>科目設定のねらい</p> <p>精神疾患を抱える患者においては、自分の体験や問題点を伝えられない、もしくは伝えたくない場合があり、看護師は患者の外観、表情、反応から推測し・理解し、患者を温かく見守り、患者に心配していることを伝えることができなければならない。そのために看護師は相手を気遣い、また思いやり、そのことを行動に移すというケアリングを基本とする精神看護の知識と技術が必要となる。</p> <p>精神看護における人間関係論やセルフケア理論からプロセスレコードの基礎への展開を通して、精神看護における基本概念を学ぶ。また、援助論Ⅰで学んだ精神障害に対する基礎知識を活かして、症状に合わせた援助の方法を学ぶことをねらう。</p>					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
4	1. 精神看護の基本姿勢について理解する	1) 看護師に求められる考え方と態度	(1) 精神障害に基づく身体的および精神的苦痛 (2) 精神障害による生活上の困難 (3) 精神看護と倫理 (4) 援助の原則と方法	DVD学習 グループ 討議	
2	2. 患者－看護師関係成立発展について理解する	2) 信頼関係の基礎づくり 3) 対人関係的看護理論	(1) 傾聴と共感 (2) ペプロウ対人関係論 (3) トラベルビー人間対人関係 (4) オーランド患者－看護師の相互作用論	講義 グループ 討議	
4	3. 自己理解・対象理解を深める方法を理解する	4) 援助的コミュニケーション 5) 相互作用を記録し振り返る方法	(1) 精神科におけるコミュニケーションの技術（面接技法、治療的・非治療的コミュニケーション） (2) 関係をアセスメントする －事例を元に看護場面の再構成－	講義 ロールブ レイニング	
10	4. 精神疾患を持つ人の日常生活上の問題と看護が理解できる	6) 入院生活環境と患者の権利 7) 安全管理 8) 精神症状の特徴と症状を持つ患者への看護	(1) 病棟環境の調整 (2) 行動制限と患者の権利（精神保健福祉法に基づく制約） (3) 精神科におけるリスクマネジメント ①自殺、自殺企図 ②暴力 ③災害時の精神科病棟の安全確保 (1) 各症状に対する観察と看護のポイント ①思考の障害 ②感情の障害 ③意欲の障害	講義 講義	

			④知覚の障害 (幻覚) ⑤意識の障害 ⑥記憶の障害 (2) 身体合併症と身体のケア ①フィジカルアセスメントの重要性 ②精神科特有の身体のケア 足のケア、皮膚のケア、口腔のケア、排便のケア (3)リエゾン精神看護	講義 講義
6	6. 事例を通して精神疾患を持つ人の看護の方法が理解できる	9) 主な疾患と看護 10) 入院中の患者の看護	(1) アルコール依存症の患者の看護 (2) 気分障害の患者の看護	講義 事例演習 技術演習
2	7. 全人的に対象を理解する	11)ライフヒストリーを理解する	(1) ライフヒストリーとライフストーリー (2) 「人」としての理解と「患者」としての理解	講義 事例演習
2	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学①精神看護の基礎,精神看護学②精神看護の展開 医学書院 舟島なをみ 看護のための人間発達学 医学書院			
参考文献	中井久夫 看護のための精神医学第2版 医学書院 宮本眞巳ほか アディクション看護 医学書院 川野雅資 新看護観察のキーポイントシリーズ精神科Ⅰ・Ⅱ 中央法規 川野雅資 精神症状のアセスメントとケアプラン メヂカルフレンド社 川野雅資 エビデンスに基づく精神科看護ケア関連図 中央法規 坂田三允 統合失調症・気分障害をもつ人の生活と看護ケア 中央法規			
評価方法	筆記試験、レポート、学習への取り組み状況			

授 業 概 要

分 野	専門分野Ⅱ	科目名	精神看護援助論Ⅲ 「統合失調症を持つ人の 看護」	担当講師	阿達 勇二 谷 友紀子・上地あさひ 田中佳代子
実施年次	2年次	単位数	1単位	時間数	30時間
<p>科目設定のねらい</p> <p>現在、精神科看護の対象者の大半が統合失調症である。(精神科の入院患者の疾病別構成割合の約60%が統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害である) それだけに看護師は統合失調症について明確に理解しておくことが求められる。</p> <p>統合失調症を持つ人の事例を通して疾患への理解を深め、精神を病むとはどういうことか、また精神症状をどのように捉えたら看護の手立てが考えられるか、そしてどのように看護展開していくのかを学習することをねらう。</p>					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
2	1. 統合失調症の患者の特徴と基本的な看護が理解できる	1) 統合失調症の患者の看護	(1) 統合失調症の急性期・回復期・慢性期各期の特徴と一般的な看護 (2) 精神症状、身体症状と一般的な看護 (3) 治療(薬物療法、電気痙攣療法)に伴う看護	講義	
2	2. 精神科看護に必要なアセスメントの視点が理解できる	2) 対象理解とアセスメントのポイント	(1) ライフヒストリーから対象を理解する (2) ヘンダーソンモデル(精神科看護)に基づいた看護に必要な情報とアセスメント内容	講義 事例学習	
8	3. 事例を通して看護展開の方法を理解する	3) 急性期の看護の展開 4) 看護援助の実践	<事例学習> (1) 精神症状や向精神薬が及ぼす日常生活への影響をアセスメントする (2) 急性期の看護援助を考える (3) 必要な看護援助の実践と援助の評価	グループ 討議 事例演習 技術演習	
4	4. 精神科における治療(社会療法)を理解する	5) 社会療法としての園芸療法の実践	(1) 園芸療法の意義・対象・効果 (2) 園芸療法の実践	講義 演習	
6	5. 事例を通して看護展開の方法を理解する	6) 回復期の看護の展開	<事例学習> (1) 精神症状や向精神薬が及ぼす日常生活への影響をアセスメントする	グループ 討議 事例演習	

4	6. 事例を通して看護展開の方法を理解する	7) 社会復帰準備期の看護の展開	(2) 回復期の看護援助を考える (1) 地域生活に向けた看護援助を考える (2) 社会資源を理解する	講義 グループ 討議
2	7. 精神疾患を持つ人の地域生活を支える為の看護の必要性が理解できる	8) 地域における精神看護	(1) 地域生活を支えるための社会資源 (2) 精神疾患を持ちながら地域で生活している当事者の体験談 (ピアサポーター)	講義 当事者による講話 グループ 討議
2	試験			
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学①精神看護の基礎, 精神看護学②精神看護の展開 医学書院 舟島なをみ 看護のための人間発達学 医学書院 秋葉・江崎他 第4版 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 ニューヴェル・ヒロカワ			
参考文献	ヴァージニア・ヘンダーソン著 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会 村田満・西崎統 看護に活かす検査値の読み方・考え方 第2班 総合医学社 齋藤環 オープンダイアログとは何か 医学書院 浦河べてるの家 べてるの家の「非」援助論 医学書院 浦河べてるの家 べてるの家の「当事者研究」 医学書院 山根寛 園芸リハビリテーション 医歯薬出版 山根寛 ひとと植物・環境—療法として園芸を使う 青雲社 グロッセ世津子 園芸療法のこころ—ひとりひとりの物語から ぶどう社 <他 精神看護援助論Ⅰ・Ⅱの項参照>			
評価方法	筆記試験、レポート、授業・事例演習への取り組み状況			